

安全データシート

作成日 2011 年 4 月 4 日
改訂日 2024 年 4 月 1 日

1. 製品及び会社情報

製品の名称

ゴムエース P 主剤

会社名 アサヒボンド工業株式会社
住所 東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門 営業部
電話番号 03-3972-4929
FAX番号 03-3972-4583
緊急連絡電話番号 03-3972-4929推奨用途及び使用上の制限: ゴムシート用ウレタン系防水材加工のプライマー用途に限る。
整理番号 10011

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に外当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分に外当しない
	生殖毒性	区分に外当しない
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3(麻酔作用、気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

(H225) 引火性高い液体及び蒸気
(H315) 皮膚刺激
(H319) 強い眼刺激
(H317) アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
(H335) 呼吸器への刺激のおそれ
(H336) 眠気又はめまいのおそれ
(H373) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
(H401) 水生生物に毒性
(H411) 長期的継続的影響によって水生生物に強い毒性

注意書き

【安全対策】

(P210) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
(P233) 容器を密閉しておくこと。
(P240) 容器を接地しアースをとること。
(P241) 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
(P242) 火花を発生させない工具を使用すること。
(P243) 静電気放電に対する措置を講ずること。
(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(P264) 取扱い後はよく手を洗うこと。
(P261) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
(P271) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
(P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
(P273) 環境への放出を避けること。

【応急措置】

(P303+P361+P353) 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
(P370+P378) 火災の場合: 消火するために火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用すること。
(P403+P235) 換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
(P302+P352) 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと
(P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(P305+P351+P338) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを

着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 (P337+P313) 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 (P333+P313) 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当
 (P304+P340) 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 (P312) 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 (P314) 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 (P391) 漏出物を回収すること。

【保管】

(P403+P233) 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 (P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】

(P501) 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物			
化学品又は一般名	溶剤系ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂			
危険有害成分				
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号	
ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂	40～50%	25068-38-6	(7)-1283(化審法)	
酢酸エチル	40～50%	141-78-6	(2)-726(化審法)	
1-メキシ-2-プロパノール	6～10%	107-98-2	(2)-404(化審法)	

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。 直ちに牛乳や卵を飲ませて毒性を希釈すること。又はコップ数杯の水を飲ませ体内で毒性を薄める。
応急措置をする者の保護	有機溶剤用防毒マスクを使用すること。他「8. 項」で推奨の個人保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水 大火災: 水噴霧、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時の特定の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱すると容器が爆発するおそれがある。 消火水が汚染を引き起こすおそれがある。 蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。
特有の消火方法	可能な限り遠くから無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 これが不可能な場合にはその場から退避し、燃焼させておく。
消火を行う者の保護と予防措置	消火の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。低地から離れる。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境中へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざげること。 - 禁煙。 容器を接地すること/アースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。

<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。 取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。 取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。</p>
<p>保管</p>	<p>保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所の床は、床面に水が侵入し、又は浸透しない構造とすること。 貯蔵倉庫には、危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。</p>
<p>安全な保管条件</p>	<p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。 酸化剤、酸から離して保管する。 容器を密閉して涼しい所／換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>表面処理された鋼板、あるいは、ステンレス容器に保管する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

<p>許容濃度 日本産衛学会(2007年版) ACGIH(2007年版)</p>	<p>酢酸エチル 400ppm 1400mg/m³ 酢酸エチル TLV-TWA 400ppm 1-メキシ-2-プロパノール TLV-TWA 100ppm</p>
<p>設備対策</p>	<p>気中濃度を推奨された管理濃度・許容濃度以下に保つために、局所排気装置を設置すること。 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p>
<p>保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>防毒マスク(有機ガス用) 耐油性(不浸透性)の手袋 保護眼鏡または安全ゴーグル 長靴、前掛け、保護衣</p>

9. 物理的及び化学的性質

<p>物理状態、色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸騰範囲 可燃性 爆発下限及び爆発上限範囲/可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 n-オクタノール／水分分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性 燃焼性(固体・ガス) 粘度</p>	<p>無色透明液体 酢酸エチル臭 データなし データなし 引火性 データなし 構成成分より推定値－4℃(密閉式) 成分の1-メキシ-2-プロパノールが270℃であるのでこれに近い温度であると推定される。 データなし データなし(非水系である) データなし 芳香族炭化水素系溶剤、ケトン等の有機溶剤に可溶。 製品としてデータデータなし。成分の酢酸エチルは log Pow= 0.73。 データなし 0.98～1.03(23/23℃) 製品としてデータなし。成分の酢酸エチルは 3.0(空気=1)。 データなし 該当しない 30 mPa・s(23℃)以下</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10. 安定性及び反応性

<p>反応性 化学的安定性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の取扱い条件において安定である。 通常の取扱い条件において安定である。 高温、湿気、裸火、スパーク、静電気、その他発火源。 強酸化剤(硝酸、過塩素酸マグネシウムなど)、強塩基、強酸、アミン化合物、重合開始触媒。 一酸化炭素、二酸化炭素</p>
-------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

11. 有害性情報

<p>急性毒性 経口</p>	<p>区分に外当しない 以下の区分の急性毒性/経口の物質を含む。 ヒスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 ラット LD50 11,400mg/kg</p>
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

		1-メキシ-2-プロパノール ラット LD ₅₀ 5000-7510mg/kg
経皮	分類できない	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 マウス >1270mg/kg
吸入	分類対象外	
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2)	以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。 区分2 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 区分3 1-メキシ-2-プロパノール
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼刺激(区分2)	以下の区分の眼に対する重篤な損傷・刺激性の物質を含む。 区分2 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 区分2 酢酸エチル
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)	以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。 区分1 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂;アレルギー性皮膚反応をおこす恐れ
生殖細胞変異原性	区分に外当しない	以下の区分の生殖細胞変異原性の物質を含む。 区分に外当しない ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 区分に外当しない 酢酸エチル
発がん性	データなし	
生殖毒性	区分に外当しない	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	眠気及びめまいのおそれ(区分3) 呼吸器系の障害(区分3)	以下の区分の特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)の物質を含む。 区分3 酢酸エチル(麻酔作用) 区分3 酢酸エチル(気道刺激性) 区分3 1-メキシ-2-プロパノール(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし	
誤えん有害性	データなし	

12. 環境影響情報

生態毒性

水性環境有害性 短期急性)	水生生物に毒性(区分2)	
	以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。	
	区分2 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂	
	甲殻類 オオミジンコ	EC ₅₀ (48時間) 1.7mg/L
	水溶解度	0.041mg/L
水性環境有害性 長期(慢性)	長期的影響により水生生物に強い毒性(区分2)	
	以下の区分の水性環境慢性有害性の物質を含む。	
	区分2 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂	
残留性・分解性	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂	難分解性:BOD 分解度:0%
生体蓄積性	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂	低濃縮性:BCF<42
土壤中の移動性		
オゾン層への有害性	本製品成分はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていないため、分類できないとした。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	1866
品名	樹脂液(可燃性)
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	該当(X類 ビスフェノール A エピクロロヒドリン樹脂、Z類 1-メキシ-2-プロパノール)

国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。

15. 適用法令

消防法	危険物第4類第1石油類非水溶性
化審法	優先評価化学物質 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 第2種監視化学物質 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂する
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
劇物及劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	
名称等を表示すべき有害物	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂、酢酸エチル、1-メトキシ-2-プロパノール
名称等を通知すべき有害物	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂、酢酸エチル、1-メトキシ-2-プロパノール
皮膚等障害化学物質(2024.4.1 施行)	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
変異原性が認められた物質	該当する。ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (平成9年12月24日労働基準局長通達 基発第770号の2)
有機溶剤中毒予防規則	第2種有機溶剤; 酢酸エチル
危険物・引火性の物(施行令別表第1 第4号)	該当する。
労働基準法	
感作性物質の指定	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (平成8年3月29日労働基準局長通達 基発第182号)
疾病化学物質の指定	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
船舶安全法	危規則告示別表第1 (有害性物質)容器等級Ⅲ、引火性液体類
海防法	ばら積み運送: 有害液体物質(X類とZ類同等の物質) 個品運送: 海洋汚染物質(X類 ビスフェノールAエポクロロヒドリン樹脂)。
航空法	施行規則告示別表第1 (有害性物質)等級Ⅲ 引火性液体 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
輸出貿易管理令	該当する。(キャッチオール規制対象品)

16. その他の情報

F☆☆☆☆認証 JAIA(005400)

参考文献

- 1) JIS Z 7253 日本規格協会
- 2) 原料メーカー発行安全データシート
- 3) 日化協「緊急時応急措置指針」 日本化学工業協会

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。